



2026-2027年度 国際ロータリー第2540地区

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

September 9
2026
vol.03

ロータリー特別月間 9月

基本的教育と識字率向上月間 ロータリーの友月間



持続可能なインパクトを
生み出そう

2026-2027年度 ガバナー 土 舘 守
2026-2027年度 国際ロータリー会長
オンラインカ・ハキーム・ババロラ

目 次

ガバナーメッセージ	2
RLI日本支部総会・研修会報告	3
第1回RLI委員会並びにFA養成研修報告	4
ガバナー公式訪問 本荘南RC	5
ガバナー公式訪問 本荘東RC	6~7
ガバナー公式訪問 大曲RC	8
ガバナー公式訪問 大曲中央RC	9~10
ガバナー公式訪問 大曲仙北RC	11
ガバナー公式訪問 田沢湖RC・角館RC	11
ガバナー公式訪問 大曲南RC	12~13
ガバナー公式訪問 秋田東RC	14
新会員紹介	15
2026年7月会員数の増減	16

ガバナーメッセージ



国際ロータリー第2540地区
2026-2027年度ガバナー

土 舘 守 (大館ロータリークラブ)

新年度が始まってすぐに、令和8年熊本地震が起き、さらには、千葉県で信じられないような豪雨が発生して、被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。また、秋田県でも今年の夏は暑さが厳しく、残暑にはくれぐれもご注意ください。

さて、公式訪問ですが、現時点で10クラブを訪問する事が出来ました。例年に比べ、遅いペースですが、私にとっては様々な事を知る絶好の機会でありました。比較的少人数のクラブが多かったせいか、会長幹事面談では、新会員の獲得に非常に苦労している事が報告されていました。それでも、一人でも増やしたいという意欲は感じられ、誠にありがたい事だと感じました。また、少人数クラブならではの、温かいおもてなしや気遣いに、同行者、ガバナー補佐ともども感激してまいりました。

各クラブともロータリーのセレモニーもしっかり実施しており、伝統と気品をしっかり守っていると感じました。ただ、例会の中でも、面白い事、ワクワク感、期待感などをくすぐる仕掛けがあれば、もっと会員が増えるかもしれません。

夏は、各地でお祭りがあり、新会員獲得の絶好の機会です。是非、頑張ってお新会員候補者を見つけて

ください。そして積極的にお声がけして、1人でも多く仲間を増やしましょう。

9月は、地区もクラブも奉仕活動の佳境に入る時期です。RLI委員会、社会奉仕委員会、そして、財団委員会など、地区の委員会も頑張っています。

また、8月22日に開催された「第56回インターアクト年次大会並びに第2回RYLAセミナー」では、インターアクターをはじめ、沢山の方にお集まりいただきありがとうございます。この大会を通じて、私もインターアクターにとって、国際性を身に着ける事が非常に重要であることが理解できました。

また、先日ウクライナからの高校生を招いた仙台育英高校が、日本最初のインターアクトクラブを作ったことも知りました。歴史あるクラブなだけに、奉仕活動も筋金入りだ、と感じました。

実りの秋、奉仕活動が活発になる時期、ロータリーが楽しくなる時期です。地区も頑張りますので、皆さん時間を作って奉仕活動に参加して、充実した秋を満喫しましょう。

「RLI日本支部総会及び研修会」会議報告書

地区RLI委員長

桑 原 透
(秋田ロータリークラブ)

2026年7月25日(土) 13時半から東京の新虎安田ビルNIKAIカンファレンスにて「RLI日本支部総会及び研修会」が開催され、当地区から2名参加しました。

総会では、RLI日本支部の高野孫左エ門副委員長の挨拶に続いて、来賓の中谷研一国際ロータリー理事が挨拶。その後、議事に入って2025-2026年度事業報告・決算報告並びに2026-2027年度事業計画・予算や、役員改選、手続要覧販売収益から事務経費以外の金額の処理について可決承認しました。

参加地区現況としては、今年度も全国34地区中29地区がRLIに参加しています。

報告事項として、昨年同様に卒業バッジの価格は1,000円、テキストブック1,500円です。今年度から受講者テキストブックが改訂されました。



第2部では、国際ロータリーラーニングファシリテーター野口英一氏による「国際協議会におけるラーニングファシリテーターとは」というタイトルで講演いただきました。

その後で、高野地区支援チームリーダーによるファシリテーション研修を行ないました。

1テーブル8名に分かれて、ワールド・カフェスタイルに準じた形式で、「温かく迎え入れる雰囲気づくり」をテーマに、ファシリテーターが15分毎に替わって、それまでの会話を引き継ぎながら再び対話を進めるという形式で、ファシリテーターとして留意すべき事項と、その対応を構築していく上での大切な要素を学び取る研修を行ないました。

閉会後の懇親会では、他地区メンバーと交流を図ると共に、様々な情報を得ることが出来て大変参考になりました。

会員増強が喫緊の課題である当地区において、RLIを活用・推進することで会員維持やクラブ活性化の有効な手段として地区が主催し続け、クラブを支援する役割がより一層望まれるものと考えます。

当地区が個性溢れる多くのクラブやロータリアンで満ち、ロータリーの目的に沿って地区内全クラブが地域に尚一層貢献するためにも、すべてのロータリアンがRLIラーニング・セミナーを受講してロータリーをより知ることと、全クラブが毎年継続の会員研修事業としてRLIを活用することを実現したいものです。

第1回RLI委員会並びにRLIラーニング・セミナーPART Iファシリテーター養成研修 報告書

RLI委員長 桑 原 透 (秋田ロータリークラブ)

2026年8月22日(土) 9時30分から秋田テルサにて、第1回RLI委員会並びにRLIラーニング・セミナーPART Iファシリテーター養成研修を12名が参加して開催しました。

当地区において5年目を迎えるRLIラーニング・セミナーは、PART Iを9月13日、PART IIを11月15日、PART IIIを2027年3月に秋田テルサを会場に開催します。

また、ファシリテーター養成研修はPART Iを8/22に、PART IIを10/17に、PART IIIを2027年2月に開催します。

始めに、第1回委員会においては年間事業の説明と当日のタイムスケジュールの確認と、円滑なセミナー進行を実現するために各委員の役割分担を決め

ました。

続いて、PART Iファシリテーター養成研修においては、ファシリテーターの在るべき役割についての確認と、各セッションの担当決定の後に模擬研修を行い、成功に導くための改善点を意見交換しました。

委員会では、受講者を一人でも増やすために、要請のあったクラブ(8/22現在で7クラブ)の例会へ同って、積極的な受講と本セミナーを各クラブにおける毎年継続の会員研修事業として活用してほしい旨のお願いをしています。

会員維持やクラブ活性化の課題解決の一助として、RLIラーニング・セミナー受講を促進することが有効であり、地区が主催し続けることでクラブを支援する役割を果たせるものと考えます。

当地区が多く個性溢れるクラブやロータリアンで満ち、ロータリーの目的に沿ってすべてのクラブがそれぞれの地域において更に貢献するためにも、是非ともRLIラーニング・セミナーをご活用ください。



ガバナー公式訪問報告

本荘南ロータリークラブ

ガバナー 土 舘 守

7月23日「本荘グランドホテル」にて、本荘南ロータリークラブの公式訪問を行いました。何と当日同じホテルで、2つのライオンズクラブの例会も開かれておりましたが、内容的には負けないつもりで卓話をさせて頂きました。

本荘南ロータリークラブは現在6名の会員がい

ますが、かつては30名の会員数を誇ったこともあり、私からは新会員1名増強、最低でも現状維持をお願いしました。

奉仕活動は、水林にある新生園に空気清浄機の寄贈や、出前ラーメン屋を開いていました。かつては、水源の森の清掃活動をしていましたが、熊対策で休止しております。

小人数ながら、創立35周年を誇り、クラブの伝統を守る意欲が感じられました。



ガバナー公式訪問報告

本荘東ロータリークラブ

会 長 鈴木 正男

7月27日（月）ガバナー公式訪問時のご指導について下記のとおり報告します。

最初に土舘ガバナーより第2540地区の本年度の活動方針・目標等について次のような説明と指導がありました。

ガバナーの本年度のスローガンとして「初心の感動を忘れず、地域と共に奉仕を实践しよう」との内容について指導がありました。ロータリーの活動の基本は「職業奉仕」による社会貢献である旨の内容でした。

本荘東ロータリークラブでは、例会等で会員によ

る自由課題発表を实践しており、それぞれの会員が職業を通じた職業奉仕を实践されているように感じています。

さらに、本荘東ロータリークラブでの現状と各委員会等の活動についての確認がありました。以下のとおり答弁しました。

1. 会員の現状と今後の取り組みについて

正会員17名 家族会員3名 計20名

直近3年間においては、退会者3名、入会者3名と実質的増減はありませんでした。入会者3名のうち当クラブとして初めての女性会員が2名入会されました。また、直近1年間においては退会者がゼロでありました。



ガバナー公式訪問報告

新規入会についての取り組みについては、会員増強委員会を中心として、例会等において入会予備軍の名簿を共有し、見込みのある者については、昼例会または夜例会に招待し、ロータリーの良さを実際に感じてもらう取り組みを行ってまいりました。

本年度も踏襲し、1年間退会者ゼロ、入会者最低でも1名を得られるように取り組みたいと思います。

2. 職業奉仕・社会奉仕について

新規学校開校時に新規植樹をしたり、支援学校或いは過去に植樹した学校の木の剪定や周辺の手入れ等を行ってまいりました。また、海岸の砂浜の清掃活動を近隣中学校と共同で行ってきましたが、ここ2年間は、海岸に廃棄物が少ないというところで実践できておりません。

3. 財団への寄付金等について

本荘東ロータリークラブとしては、やや寄付の金額が少ないと指摘を受けました。今後は、例会等において、ロータリー財団・米山奨学金・国際プロジェクト基金の活動の大切さ・重要性を説明し、個人寄付金の増額を目指したいと思います。

ガバナー 土 舘 守

7月27日、「ホテルアイリス」にて、本荘東ロータリークラブの公式訪問を行いました。

本荘東ロータリークラブは正会員が17名、家族会員が3名です。事務員はベテランの方がいるので心強いと言っていました。会員拡大では、ここ3年現状維持で、まずは退会防止に力を入れているようですが、地元の大企業TDKがロータリーに理解のないのが残念という事でした。

私からは新会員1名増強、最低でも現状維持をお願いしました。奉仕活動は、40年前から交流がある新生園に、アルミ缶の収集活動を支援しております。これがなんと年間17万～20万円になるそうで、ペットボトルキャップよりはるかに効率が良いと言っていました。

ロータリー財団や米山奨学に関しては、各1,000円ずつ予算化されていますが、個人的なプラスアルファをお願いしました。

その他として、親睦活動が活発であり、奉仕活動も秋田魁新報に投稿しておりますが、SNSにはまだ取り組んでないとの事です。

会員が徐々に高齢化しています。志あれば道あり、新会員獲得に向けて頑張ってください。

ガバナー公式訪問報告

大曲ロータリークラブ

ガバナー 土館 守

7月28日、鎌田会長、久保田幹事率いる大曲RCの公式訪問を行いました。

大曲RCは現在会員が53名ですが、3年後の70周年記念時には会員70名を達成しようと張り切っております。衛星クラブや家族会員は考えず、正会員を増やすことに力を入れ、地区にとっては大変ありがたいクラブです。会員拡大は、委員会だけに任せるのではなく、クラブのメンバー全員が拡大委員会の委員としての自覚を持ち、常に入会申込書を持ち歩いている事は、まさに会員拡大の模範となるクラブであると認識しました。

クラブテーマとして「内には親睦、外にはインパク

ト」と、交流と学びの場としてのクラブ作りを推進していました。例会出席率も高く、毎回40人以上の参加があります。その秘訣は、4つのテストの後のハンドシェイクにあるのでは、と思いました。これにより、親近感が一層増し、クラブの誇りや友情に一層磨きがかかっているように感じました。

奉仕活動としては、大曲農業高校の就職模擬面接に全面協力をしており、私の大館RCの3倍の規模でありました。また、ロータリー財団や米山奨学寄付金も毎年地区の上位を占め表彰を受けている事は、第2540地区の牽引者であると思います。

改めて大曲RCの歴代会長の皆様に敬意を表したいと思います。

ガバナー公式訪問報告

大曲中央ロータリークラブ

幹 事 渋谷 智之

訪問先：大曲中央ロータリークラブ

期 日：令和8年7月29日（水）

会 場：大仙市 グランドパレス川端

訪問者：土館守ガバナー・泉谷昭一ガバナー補佐・
小松彰様（大館 RC）

講 話：土館ガバナー講話

- ①自己紹介…75歳（後期⇒高貴）高齢者です。公式訪問は点検の場ではありません。支援の場です。2026年1月にオランダで開催された国際協議会に510名を超えるガバナーエレクトが参加し学びと交流が行われました。
- ②オンラインカ・ハキーム・ババロラRI会長のメッセージ「CREATE LASTING IMPACT」“持続可能なインパクトを生み出そう”
- ③会長メッセージの具現化、地区への取り組み、地区スローガン「初心の感動を忘れず、地域と共に奉仕を实践しよう」

【地区活動方針】7つの活動重点要項

1. 職業奉仕を重視した会員拡大を図ろう



- ・継続的な活動の為に経済基盤の安定
- ・仲間を増やすことは自分自身や事業を成長させる
- ・会社もロータリーも新しい人が入らないと将来がない

※2024年1月RI決定事項（第2540地区が抱える重大事項）

2027年1月1日に会員数1,100人を維持できなかった地区は2028年7月1日にRI理事会が指定する地区と合併しなければならない。

2. 例会の充実に地区がもっと支援しよう
3. 公共イメージ向上を推進しよう
4. 行動計画を策定しクラブを成長させよう
5. 青少年活動を積極的に支援しよう
6. ロータリー財団や米山記念奨学会の募金に協力しよう
7. 変化を恐れずに努力しよう

☆クラブで継続してきた活動を評価していただき会員一同勇気づけられました。

少数会員クラブですが少しずつ会員増大しております。今後も会員全員が力を合わせて頑張っていきたいと思います。ありがとうございました。

また、大館RCの小松彰様より11月7日（土）・8日（日）開催の地区大会ご案内いただきありがとうございました。



ガバナー公式訪問報告

ガバナー 土館 守

7月29日に「グランドパレス川端」にて大曲中央ロータリークラブの公式訪問を行いました。

会員数は13名ですが、富樫龍紀パストガバナーを輩出しており、小さくともキラリと光るクラブ運営をされておりました。

今年度は富樫パストガバナーが会長で、グランドパレス川端の渋谷社長が幹事という大物コンビです。早速、クラブパンフレットを作成しながら、新会員を1名入会させるなど、クラブの勢いを感じられまし

た。また、女性会員が多いのも特徴です。

奉仕活動にも熱心で、2008年よりエコキャップ収集をしており、今年もかなりの量を集めておりました。高齢者施設にて、抹茶のサービスや幼稚園児にテーブルマナーの講習会を開くなど、多彩な奉仕活動を展開しており、地域に対してしっかりと実践しておりました。

2年後、40周年を迎えるとの事で、大曲中央ロータリークラブの益々の発展を期待しております。



ガバナー公式訪問報告

大曲仙北ロータリークラブ

ガバナー 土館 守

8月3日、「大曲プラザ たつみ」にて大曲仙北ロータリークラブの公式訪問を行いました。

今年度、ガバナー補佐として泉谷昭一氏を出向して頂いております。

会員数は12名の小規模クラブですが、多彩なメンバーが集まっていました。チャーターメンバーも2人残っておられ、重鎮としてクラブを支えております。また国際色も豊かで、マレーシア出身のロザリンさんや、ケニアのナイロビに在住の名誉会員も居られました。

奉仕活動もユニークで、在籍のロザリンさんの研究テーマから不登校の子供たちや、引きこもりの青少年たちの為に、その生き方と学習を支援するNPO法人を応援する活動を続けられておられます。

また、田口会長特製のマスクメロンを食する会を他クラブと合同で2回開催するなど、小さくともキラリと光るクラブ運営をされておりました。

会員拡大も努力され、現在2名にお声がけして入会を勧めていますとの事です。しかし、将来的な事を考え、大曲地区のクラブ合併の話にどう対処すべきか悩んで居られましたので、多少のアドバイスをさせて頂きました。大曲仙北ロータリークラブも、青森との地区分割の為に出来たクラブで、その時のガバナーが大館ロータリークラブの今井篤さんです。

今回、地区統合の合併、クラブの合併の話が出ているのが大館ロータリークラブ出身の私なので、不思議な縁を感じました。

田沢湖ロータリークラブ 角館ロータリークラブ

ガバナー 土館 守

8月5日、田沢湖町の「割烹 桃屋」にて、田沢湖ロータリークラブと角館ロータリークラブの合同例会に訪問いたしました。

まずは、田沢湖ロータリークラブの田口会長、伊藤幹事との面談から始めました。田沢湖ロータリークラブでは、会員1名増強し20名の確保に向け力強く前進していました。

奉仕活動も活発で、田沢湖駅前の花壇の整備やお祭り時の子供イベントの支援、田沢湖の白浜のクリーンアップを実施していました。さらに、駅前ピアノの寄贈や、街頭時計の設置でロータリーを広く宣伝しております。さすが一昨年、佐藤和志ガバナーを輩出したクラブであると感心致しました。

角館ロータリークラブは、大澤会長、佐藤幹事と同じ会場で面談をしました。最盛期55人もいた会員が、現在は14名と大幅に減少しております。一番の原因は、昔あった県内外の大手企業の角館支店が相次いで閉鎖され、ロータリーにお誘いするような経営者が少ない事を上げられておりました。

新会員は毎年入会するものの、高齢で退会する会員も多く、結局現状維持との事だそうです。奉仕活動としては、角館インターアクトクラブの支援に力を入れ、8月22日のインターアクト年次大会を楽しみにしているとの事でした。

会長幹事面談後、夜例会でしたので、楽しくお酒を飲みながら交流して、佐藤ガバナー輩出時の苦労談を聞きながら、楽しい一時を過ごしてきました。

ガバナー公式訪問報告

大曲南ロータリークラブ

幹 事 丹野 光政

訪問日時 2026年8月6日(木) 11時15分～13時30分

訪問場所 大曲南ロータリークラブ(大曲エンパイヤホテル)

ご訪問者 ガバナー 土館 守 様

ガバナー補佐 泉谷 昭一 様

大館ロータリークラブ 会長 小畑 新一 様

●概要

(1)会長・幹事面談

辻会長より活動計画書と現況報告書をもとに活動状況等を説明した後、土館ガバナー、泉谷ガバナー補佐より質疑応答形式でご指導・ご助言をいただきました。

会員増強・拡大にあたっては、今後、「新しい人・新しい力」が重要であり、古いやり方に固執せず、必要に応じてクラブ運営に新しいやり方・風を

入れこんでいく必要性についてお話がありました。

今年度、クラブ設立60周年を迎えるにあたり実施を計画している「記念式典」および「記念事業(大曲支援学校への支援事業)」については、60周年を一つの節目として、会員全員が一つにまとまってロータリー活動の意義・目的・良さ、そしてさらなる発展を期す機会にしてほしいとの激励をいただきました。

また、辻会長から、当クラブは週報努力クラブで表彰されるなど、週報作成に注力してきた中、地区HP掲載不可は非常に残念であるという話をしたところ、掲載不可に至った経緯や代替手段・他ロータリークラブの事例紹介など、ご助言をいただきました。

(2)例会

はじめに通常の例会の進め方で会を開会。辻会長から土館ガバナー、泉谷ガバナー補佐、小畑会長に歓迎・御礼を述べた後、土館ガバナーから



ガバナー公式訪問報告

ご挨拶および講話をいただきました。

土館ガバナーからは、ご自身で準備された資料に基づき、ご自身のロータリー歴のご紹介、2026ー2027年度RI会長メッセージの説明、地区スローガン設定の背景やご自身の思い、そしてロータリークラブ活動（特に職業奉仕）の意義や会員増強・拡大についてお話しいただくとともに、会長・幹事面談の感想等についても言及がありました。

また、大館ロータリークラブの小畑会長より、11月に大館市で開催される地区大会についてご紹介がありました。

●所感

第2540地区のリーダーとして、猛暑の中、地区大会に向けて各クラブを訪問し、それぞれの活動状況をご自身の目で見て生の声を聴きながら、暖かい目で大きな視座をもって様々な助言をする、土館ガバナーのお考え・姿勢に感銘を受けました。

ガバナー 土 館 守

8月3日、「大曲エンパイヤホテル」にて大曲南ロータリークラブの公式訪問を行いました。今年度、60周年を迎えるとの事で、県内でも老舗クラブに入るかと思います。また、社会長のお父様の辻 久男さんとは、秋田県食品衛生協会にて一緒に副会長を務めた仲なので、親しく感じられました。同行した大館ロータリークラブ小畑新一会長も、昨年のきりたんぼ祭りで大曲南ロータリークラブとは交流があり、親しい雰囲気での訪問することが出来ました。

会員増強では、出来るだけ50歳以上のロータリアンとしてふさわしい方を選び、お試し参加を強く呼びかけているとの事です。是非現状14名以上の会員増強をお願いいたします。

奉仕活動としては、秋田県立大曲支援学校の設立時より支援を続けられており、今年も学校行事の参加、備品の寄贈、学習畑に水を引く水道工事を計画しているとの事です。

コロナ禍の時に、大曲3RCにて合併の話が出ておりますが、合併しても会員数が減らないようじっくり検討して進めるとの事でした。

ガバナー公式訪問報告

秋田東ロータリークラブ

幹 事 渡部 智樹

2026年8月24日（月）、ホテルメトロポリタン秋田において、土舘守ガバナーをお迎えし、ガバナー公式訪問が行われました。

面談では秋田東ロータリークラブの方針および報告、継続事業についてご説明させて頂きました。

重ねて地区及び当クラブでも課題として掲げております会員増強に関して相談させていただき多くのアドバイスをいただきました。

入会しやすい・退会しにくい魅力ある組織運営が会員増強に繋がるといった内容を、他クラブの実例を含め説明いただき大変参考となりました。

例会では土舘ガバナーの自己紹介と、2026-2027年度国際ロータリー会長 オラインカ・H・ババロラ氏のメッセージに基づいた、地区のスローガンや取り組みについてご講話を頂戴いたしました。

学ぶことが多く有意義な例会となりました。貴重なお時間を頂きありがとうございました。



新会員紹介

大曲南ロータリークラブ



はらおか まさひろ
原岡 正博 会員

(7月23日 入会)

紹介者：辻 卓也

勤務先：秋田銀行 大曲支店

役職：執行役員 兼 支店長

ひとこと：出身が大仙市太田町であり、
高校は大曲高校へ通っておりました。
ロータリークラブへは初めての入会と
なりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

秋田南ロータリークラブ



ふせ ひさし
布施 久 会員

(8月7日 入会)

紹介者：内村 和人・佐藤 守

勤務先：株式会社 エイビック

役職：専務取締役

2026年7月会員数の増減

グループ		クラブ名	会員数				増減
			2026年 7月1日(A)	2026年 7月末(B)	うち 女性	うち 40歳未満	増減数 (B)－(A)
北	大館鹿角	大 館	39	39	2	1	0
		花 輪	19	19			0
		鷹 巣	4	4	0	0	0
		大 館 北	12	12	2	0	0
		十和田秋田	24	24	1	0	0
		大 館 南	32	32	0	2	0
		大 館 中 央	14	14	1	0	0
	能代男鹿	能 代	51	52	9	1	1
		男 鹿	8	8			0
		二 ツ 井	1	2	0	0	1
		五 城 目	10	10	0	0	0
		潟 上	28	28			0
		男 鹿 北	6	6	0	0	0
		山 本	11	11	0	0	0
中央	秋 田	能 代 白 神	12	12	5	0	0
		秋 田	109	109	6	3	0
		秋 田 東	77	77	5	1	0
		秋 田 港	37	37			0
		秋 田 北	58	59	4	0	1
		秋 田 南	40	42	3	1	2
		秋 田 中 央	40	40	5	0	0
	本荘にかほ	秋 田 西	22	22	3	1	0
		本 荘	36	36			0
		矢 島	8	8	1	0	0
		象 潟	9	9			0
		本 荘 東	20	20	3	0	0
		本 荘 南	6	6	3	0	0
	南	大曲仙北	大 曲	53	54	3	3
角 館			13	14			1
大 曲 南			13	14	2	0	1
大 曲 中 央			12	12			0
田 沢 湖			19	19			0
大 曲 仙 北			12	12	6	1	0
横 手		横 手	52	52			0
		横 手 南	69	69			0
		横 手 東	13	13	0	0	0
湯沢羽後		湯 沢	69	68	2	3	-1
		西 馬 音 内	16	16			0
		湯 沢 南	18	19	1	1	1
		稲 川	16	16	4	0	0
合 計			1,108	1,116	71	18	8

① 未提出のクラブはマイロータリー参照

② 女性会員・40歳未満の会員数は回答があったクラブのみの集計